

## 「第28回 関財リレバン・ワークショップ」開催

～都内信組「中小企業支援ネットワーク」実務者交流会～

(平成25年4月4日(木) 於:全国信用組合会館)



### 1. 出席者

- ・ 都内の18信用組合の地域密着型金融担当者 62名
- ・ 中根税務会計事務所 所長税理士 中根武氏
- ・ 東京信用保証協会 経営支援部長 前田晃宏氏
- ・ 東京都中小企業再生支援協議会 プロジェクトマネージャー 相場正樹氏
- ・ 他に関東経済産業局、(社)東京都信用組合協会等が参加

### 2. 開催概要

- 関東財務局においては、地域密着型金融を現場で担う担当者の意見交換・交流の場として、標記「関財リレバン・ワークショップ」を平成20年度より管内で27回実施しております。

現状、「ポスト円滑化法」において取引先の経営改善支援を飛躍的に増進させることは喫緊の課題であり、それはそれぞれの信組の営業基盤の維持強化にも必須です。そのため「中小企業支援ネットワーク」の枠組みの一層の活用と経営改善支援

に係るノウハウを共有する場として本会を企画しました。

○ 会ではまず当事務所の川瀬所長からの上記趣旨を内容とした挨拶の後、東京信用保証協会（中小企業支援ネットワーク事務局）の前田経営支援部長より経営サポート会議の進捗状況について、東京都中小企業再生支援協議会の相場プロジェクトマネージャーより同協議会の活動実績等について説明いただきました。

○ その後、中根税務会計事務所の中根武所長税理士より「経営改善計画と具体的な事例研究～コンサルティング機能の充実に向けて～」と題して、講演をいただきました。

講演では、「中小企業の経営改善に向けて、経営者自らが経営状況を正確に把握、目標の設定、行動計画を策定し、PDCAサイクルでの業績管理を行うための意識改革を促し、適切なサポートを行うこと」の重要性や、中小企業経営の課題について「具体的な事例」を交え、その課題解決のために、「企業の身近な存在である税理士と金融機関との連携の必要性」などのお話をいただきました。

